# **令和４年度　山口県健康福祉部連絡協議会議事録**

開催日時：令和4年8月5日（金）15：00 ～ 15：50

開催場所：山口県総合保健会館（山口市）

山口県健康福祉部（出席者）

医療政策課　　　　主査　　　　岡本　直弥

医務保険課　　　　主任　　　　藤本　悟

山口県健康福祉部（欠席者）

医療政策課　主任主事　　　　福田　拓生

健康増進課　　　　主任　　　　松本　ふみ

**出席者数：17名**

出席者（理事）：三輪光良　大平知之　小池正紘　齋藤茂治　山本公志

Web出席者（理事）：峯重正紀　渡邊征二　礒部雅史　冨芳恭行　德永昌久

中村雅宏　山野井健　沖本義則　井本博和　河井健博　丹羽英彰

Web出席者（監事）: 小田真一郎

欠席者（理事）:河村裕介　佐野裕一　堺谷友紀

欠席者（監事）：新町浩太郎

　三輪会長の司会進行で始まった。新型コロナウィルスがまた広がってきた。理事の皆さんにはWebでの参加ということでご了承いただきたい。例年だと各理事の自己紹介から始まるが、本日は名簿を持って代えさせていただきたい。

**議題1　診療放射線技師の養成学校設置に関する情報提供のお願い**

三輪会長：診療放射線技師の養成学校に関する情報があれば提供いただきたい。

藤本主査：健康増進課の担当が本日不在のため代わりに回答させていただく。現時点、県として専門学校等養成施設の設置の情報は把握していない。今後そのような情報があった場合は貴会に連絡する。また貴会においても情報を入手された場合は山口県に情報提供をお願いしたい。施設新設等の情報共有することで、多様な対応ができるようお互い協力していきたい。

三輪会長：情報共有を今後ともよろしくお願いしたい。

* 診療放射線技師養成学校の設置について、県と情報共有の協力を確認した。

**議題２　病院立ち入り検査について**

三輪会長：今年度の立ち入り検査は、おこなわれる方向で準備されているのか。

藤本主任：今年度の医療法第25条に基づく検査は、書面により実施することとしている。

三輪会長：今年度も昨年度と同様に書面のみということになるのか。

藤本主任：そうだ。しかし一部保健所が選定した数件の病院については立ち入り検査をおこなうこととしている。

**2－1　診療放射線技師監視委員の委託について**

三輪会長：県より委託され監視委員を派遣しているが、監視委員も立ち入り検査の際には同行す

るようになるのか。

藤本主任：実際に病院に行く際には、同席していただくようになる。その際には、通常2名の方に同行していただいているが、経験者の方と経験のない方の組み合わせになるよう配慮したいと考えている。

三輪会長：今回は、監視委員が新しくなっているので、また事前打ち合わせ等を含めよろしくお願いしたい。

河井理事：立ち入りする病院というのは決まっているのか。

藤本主任：これから保健所が選定していくので、現時点でお伝えすることはできない。立ち入る際には事前に当該病院にはお伝えする。

河井理事：今回の会議を地域の施設に報告しなければならないが、指定する病院という文言は外した方がよいか。立ち入り検査は書面でと伝えた後に、病院に立ち入るようになった際に報告の仕方が難しくなるのでどうすればよいか。

藤本主任：保健所が選定した病院については立ち入り検査をおこなうというということでよいのではないか。

河井理事：そういった書面をつけたしたら大丈夫か。

藤本主任：そうだと思う。

河井理事：わかりました。

三輪会長：選定病院についてはこれからということだが、例えばRIや治療装置を保有している施設を重点的におこなうとか、またはまったく関係なしだとか、何か選定基準で決まっていることはあるのか。

藤本主任：選考基準は放射線関係のみを考慮しない。別の要因である。

三輪会長：放射線関係の視点ではなく病院全部のことを考慮して選定され、選定された病院に

事前に報告があり、立ち入り検査がおこなわれる。また、多くの病院は昨年度同様、書面のみの検査になるということか。

藤本主任：そうだ。

* 今年度の立ち入り検査も書面でおこなう。ただし、一部保健所が選定した病院は立ち入り検査をおこなう。

**2－2　国立保健医療科学院が実施する研修について**

三輪会長：研修内容や参加費用などについて、私自身分かっていないので教えていただければ思う。

藤本主任：研修の内容でいうと、医療機関への立ち入り検査業務をおこなうために必要な放射線管理に関する専門的かつ実務的な知識と技術を習得することを目的としている研修となっている。具体的には基礎となる放射線の知識、医療放射線の安全対策、医療施設の放射線安全評価や実例研究といった実践的な業務能力の養成、改正医療法施行規則など関連法令の現場への適応についての研修が予定されている。費用については無料となっており、対象者は国又は地方公共団体等において医療放射線の監視・監督等の業務に従事するか、あるいは医療機関で放射線管理の業務に従事する者となっている。

三輪会長：今年に関してはWebでの研修だと書いてあった。以前は会場でおこなっていたが、そういった場合の旅費については県からの負担ということでよろしいか。

藤本主任：そうだ。今回はWebなのでそこは大丈夫だ。

三輪会長：監視委員に案内のメールが来たが受講してよいのかと質問がきていたので確認させていただいた。

三輪会長：今後、新しく任命したものにも、これを受講するよう勧めていくので、また何かあれば教えていただきたい。

* 国立保健医療科学院が実施する研修について説明を受けた。

**2－3　告示研修の広報について**

三輪会長：立ち入り検査が一部施設のみということであったが、告示研修の広報についてお願いしたいことがある。事前の文章にも書いたが、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律案が、第204回国会において2011年5月21日に成立した。それに伴い医師のタスクシフトの視点から、我々の業務も技師法改正に伴っての講習会、いわゆる告示研修を受講しなければならなくなった。これは技師法改正に伴うものなので診療放射線技師全員受講しなければならない。当会も会員に周知させているところだ。以前立ち入り検査の際に文章の一文に統一講習会を受講した割合をお伺いするようお願いした。今回の立ち入り検査の際に、技師法が改正されているので全員受講しなければならないということを広めていただきたく、こういった項目を挙げさせていただいた。当会は、昨年2月に告示研修（実技研修）を予定していたが、蔓延防止等の話があり一旦中止とした。今年度に関しては3回開催を目標としている。この先4年間で会員と会員以外も全員受講できるよう取り組んでいこうと考えている。こういった研修があることを我々も当然ＰＲするが、技師会に入会していない人には届かないこともあるので、病院に立ち入る際に一緒になって告示研修を広報していただきたい。

藤本主任：今年度は先ほども申したとおり原則書面で実施する予定だ。今後、国からタスクシフト関係の通知が出た際、医療機関に周知する際に合わせて、告示研修について周知するといった対応をしたいと考えている。その際に、配布する資料等があれば提供していただきたい。

三輪会長：配布用資料はメールにて後日送りたい。

* 告示研修の広報についてお願いをした。

**議題３　第17回中四国放射線医療技術フォーラム　CSFRT2023開催について**

三輪会長：令和5年11月17日・18日に山口市ＫＤＤＩ維新ホールにて開催する予定である。中四国9県の診療放射線技師が集まっての学会になる。以前2013年に海峡メッセで開催したが613名の参加であった。今回はコロナ禍で見通しが立たないが、700名前後の参加を目指し取り組んでいるところである。2018年に全国大会を開催したが、その際にはやまぐち夢花博のＰＲをしていただきたいということで、観光のブースを設けＰＲさせてしていただいた。中四国の診療放射線技師が集まるのでまた山口県のＰＲなどあれば協力したい。

藤本主任：現時点でこれをお願いしたいというものはない。また何かできれば、その時はよろしく願いしたい。

三輪会長：こちらから県にお願いしたいこともある。例えば宿泊者もあるので、その辺で助成など

あれば教えていただきたい。

藤本主任：関係課に確認してみる。

三輪会長：是非協力をお願いしたい。

小池副会長：県に後援依頼のお願いをすると思う。

岡本主査：全国学会の時は、どこの課に講演依頼を頼んだのか。

三輪会長：今は詳しく覚えていない。

* 第17回中四国放射線医療技術フォーラム　CSFRT2023開催にあたり、県へ協力のお願いをした。

**議題４　原子力災害の協力機関について**

三輪会長：山口県の原子力災害の医療体制として、山口大学医学部附属病院が原子力災害拠点病院として、周東総合病院が原子力医療協力機関に登録されたというふうに伺っている。全国的にみると放射線技師会が協力機関になっているところもある。当会も以前より訓練等参加させていただいているので是非協力機関に認定していただいき、また密な協力がでればと考えている。

岡本主査：この件については、お示しいただいた内容は理解させていただいている。また検討させていただきたい。

三輪会長：引き続き検討していただくということでよいか。

岡本主査：そうだ。

小池副会長：協力機関として認定していただく我々のメリットとしては、災害の訓練に参加させていただいているが、当然我々放射線技師も放射線の知識はあっても、原子力災害医療に関する教育を受けていない技師もたくさんいるということで、そういったところへ参加する技師のメンバーはそういった講習なりを受けて参加したいと思っている。国立研究開発法人　量子科学技術開発機構などが開催しているような研修があり、参加するにあたり、協力機関に所属しているメンバーが優先的に研修を受けれるという話を聞いている。当会の原子力災害の知識レベルを上げる意味でもご協力いただけると全体のレベルアップにつながるのではと思っている。

岡本主査：ご発言いただいた内容は、担当の方に申し伝えることとする。

三輪会長：引き続きご検討お願いしたい。

* 原子力災害の協力機関認定依頼をした。

**議題５　各がん部会からの活動報告**

三輪会長：各がん部会から令和3年度の活動報告をさせていただく。

まずは、胃がん部会　礒部理事。

礒部理事：昨年度から胃がん検診Ｘ線撮影従事者講習会はzoomを使用したオンラインの講習会でおこなっている。6月26日に第1回目の講習会をおこなった。今後はzoomを併用したハイブリッド形式で、現地に講師の先生をお呼びし、現地でも、オンラインでも参加できる形を目指したいと思っている。また最近新型コロナの感染が増えているので、今後検討しながら企画していきたいと考えている。しかし、オンライン開催をおこなう方が以前よりも参加者がおおくなっている。また、オンライン講習にすることで個人個人のパソコンモニタでじっくり画像が見えるというメリットがあった。今年度第1回講習会の参加者は59名で以前の2倍くらいなった。次回は8月20日に第2回を計画している。

礒部理事より第1回講習会でのアンケート調査の報告を画面上で供覧し説明をした。

礒部理事：アンケート回答は、年代は４０代、５０代で男性が多数であった。経験年数は１０年以上の方が多かった。１０年以上やっていてまだまだ不安を抱えておこなっている方が多いのではという印象をもった。講習会で取り上げてほしい内容は、１位が読影についてと前壁についてだった。これは、第２回講習会で取り上げることとなっている。また参加者はzoomで開催してほしいという回答がほとんどであった。アンケートの内容を反映させてより良い勉強会にしたいと考えている。

三輪会長：当会としても県から補助金をいただいてこういったことに取り組んでいる。我々のスキルをアップし精度を上げているので、受け皿としてちゃんとしたものを提供できると考えているので県の方のご協力もよろしくお願いしたい。

三輪会長：乳がん部会の担当者は本日欠席のため他の者から説明をおこなう。

山本常任理事：令和3年度の乳がん部会は令和４年３月１３日に１回おこなった。内容は「モニタの精度管理について」と島根大学医学部附属病院　新藤先生による「マンモグラフィポジショニングのこつ」をおこなった。参加者は８０名であった。

三輪会長：乳がん部会の方も委員として派遣している。昔はフィルムであったが、今はほとんどモニタ診断になっていて、モニタの精度管理が重要な我々の仕事となっている。乳がん部会に関しては、精度管理中央委員会の進める認定試験を県から補助金をいただき開催していた時期もあったが、参加者が減り開催ができなくなり、補助をこちらからお断りする事態となってしまった。しばらく認定試験をしていないと、また開催してほしいという声も強くなっている。こちらからお断りして復活するのは難しいと思う。胃がん部会同様にがん検診に携わる者としてこういった研修会を進めるにあたり、少し県から補助金なりがあれば、我々の活動も幅広くできるのではないかと思っているので、難しいとは思うがご検討お願いしたい。

三輪会長：最後に肺がん部会。

大平副会長：私は肺がん部会の委員として会議に参加した。令和3年度の会議は令和4年3月18日にWeb会議でおこなった。コロナの影響で、令和2年度の受診率がかなり落ちた。令和3年度はそれよりは受診率があがったが、それでも受信者は少なかった。そういうことにより傾向として、肺がんが大きくなって受診されるケースが見受けられるという話であった。

三輪会長：肺がん部会の活動は、フレッシャーズセミナーで経験年数3年未満の診療放射線技師に胸部撮影について基礎的な画像の診方や撮影方法などを講義している。診療放射線技師の色々な業務をするが、胸部撮影というのが多い業務の一つなので、そこのレベルの担保は今後ともしていきたいと思っている。また、CT検診というのもあるが、それぞれの研究会でレベルのアップは、しているところである。

三輪会長：各がん部会もがんばっているので、特に乳がん部会の認定が取れるようなところで協力していただきたいと思っている。

* 胃がん部会、乳がん部会、肺がん部会の昨年度活動報告と今年度の予定を報告した。

（一社）山口県診療放射線技師会　令和4年度連絡協議会

代表議事録作成人　　山本　公志

代表議事録署名人　　大平　知之

代表議事録署名人　　峯重　正紀